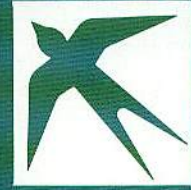




'97 身近な
生きもの
調査



●調査のてびき●





目次

はじめに	2
調査の概要	3
調査の進め方	4
調査するのはこんな鳥	
① ツバメ	5
② コシアカツバメ	6
③ イワツバメ	7
④ リュウキュウツバメ	8
⑤ ヒメアマツバメ	9
調査票の記入のしかた	10
その他のツバメ	15

はじめに

このてびきを手にされたあなたは、自然に大変興味をお持ちの方でしょうか、それともこの調査のことをお聞きになって、初めて自然に目を向けようと思われた方でしょうか。みなさん、それぞれの思いがあることと思います。

このてびきは、調査のやり方やツバメの巣の見分け方などについて説明したものです。調査を始める前に、ひととおり目をとおしておいてください。わかりにくい点は、どうぞご遠慮なく、自然環境調査室へお問い合わせください。

今回の調査が、みなさんの身の回りの自然をもう一度見つめ直すきっかけになればと、願っています。実際に調査を始めてみると、分からなくなったり、とまどったりすることもあるかと思いますが、調査期間は十分にありますので、じっくりと、みなさんのペースでやってみてください。

身近な環境を見直してみよう

ツバメは、春になると南の国から渡ってくる夏鳥です。水辺を軽やかに飛び回るその姿に、春を感じる人も多いことでしょう。

ツバメ類は、私たちのいちばん身近なところで巣を作っている野鳥でもあります。通りを歩いていると、商店の軒下やアーケードにツバメの巣が見つかり、郊外に出ると、橋げたにイワツバメが集団で巣を作っています。

身近な鳥であるツバメ類ですが、その世界にも変化が起こっています。市街地で普通に見られたツバメの巣がすっかり少なくなっています。山小屋の建物などに巣を作っていたイワツバメは1970年代から市街地に進出し、橋げたや学校などで巣が見られるようになりました。

こうしたツバメ類の分布の変化には、二つの要因が関わっています。一つは、都市化の進行による自然環境の変化です。もう一つはツバメ類自身の習性の変化で、それは都市化に対する適応とみることができます。今回の調査の第一の目的は、それぞれの種類の全国的な分布の状況をしっかりと把握して、その変化の実態をつきとめることです。

ツバメ類が種類によって巣を作る場所や環境がどのくらい違っているか、その違いに地域的な差があるかを調べることも調査の目的の一つです。ツバメ類の繁殖が途中で失敗する原因についても情報を集めます。

また、かつてはツバメ類が巣を作ることはどこでも歓迎されていました。しかし、最近では糞が落ちることで嫌われることも多くなっているようです。ツバメに対する人の気持ちも調べてみたい点の一つです。

こうした調査を通じて、これからもツバメ類が私たちの身近な鳥として生き続けていけるためにはどんな配慮が必要なのかを考えていきたいと思っています。

調査の概要

調査に使う資料

①調査のてびき

今、お読みいただいているこの冊子です。この冊子には、大きく分けて、調査全体の流れ、調査のやり方、調査結果の返送方法などが書いてあります。

調査を始める前にひととおりお読みいただき、このてびきに従って調査を進めてください。

②調査票

調査結果を環境庁に報告するための用紙です。建物や巣の写真も貼ってお送りください。なお、お送りいただいた写真はお返しすることはできません。あらかじめご了承ください。

P10～14 の記入例を参考にしてください。

③アンケート用紙

調査結果とは別に、参加形態や人数などについておたずねする用紙です。差し支えない範囲でご記入いただき、調査票と一緒にお願いします。

④返送用封筒

調査結果を記入した調査票を環境庁に返送するときに使う封筒です。

調査する範囲

調査はできる範囲で進めてください。あらかじめ決められた調査範囲(場所)というものはありません。また、調査対象となっているすべてのツバメ類を調べる必要はありません。あなたが調べた場所で撮影できたツバメ類の巣の写真だけを調査票に貼って送ってください。

調査票の返送期限

1997年(平成9年)8月31日(消印有効)までに、まとめてご返送ください。

集計と調査結果の発表

みなさんから寄せられた調査票のデータは、コンピューターに入力され、各種ごとの集計を行うとともに、全国あるいは地域ごとの分布図(生きもの地図)が作成されます。みなさんから寄せられたデータをもとに分布図を作成することによって、生きものから見た身近な自然の状況や都市化の影響などがわかるわけ

①調査のてびき



②調査票



③アンケート用紙



④返送用封筒



です。

こうした調査結果は新聞やテレビを通してお知らせするとともに、調査票をお寄せいただいたみなさんには、できるだけ早く分布図などを盛り込んだ「報告書」をお届けします。